

そのような民族の大多数、特にいくらかの文明化を享受していた人々は、人と動物を区別するものがなくなり、ジャングルか動物小屋のような生活になってしまうことがないよう、人々の生活を規制する法秩序が必要であると考えていました。



法や規則、慣習、行動における男女間の関係を適切なものに規制、調整することについて歴史を通して多くの努力や選択があり、それらを調べあげて数え尽くすことは困難です。しかし歴史書、人類学書は、完全な露出、男女ともに性的に奔放で無秩序な状態を問題ないものとする民族、女性を心配するあまり鎖で拘束するような民族、一方、男性を隠し女性は隠さない民族、あるいは一部を覆い隠し一部を露出する民族等、それ以外語りつくすことが困難な多くの民族の存在を私たちに伝えています。

イスラームにおける男性と女性の関係

イスラームにおける男女関係の規定は、歴史や 地理的要因に影響を受け限定された人の考 案ではなく、すべての時代、地域に有効な完成 された制度です。人々のためにアッラーがクル アーンのなかに下し、高貴な使徒ムハンマド様 (彼に祝福と平安あれ)によって実践されたも のです。

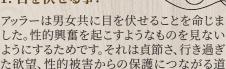
それは女性の男性に対する立場によって、その 性質と範囲は異なってきます。女性を尊重する 礼節、諸規定によって統合された法秩序であり、 予防は治療に優るという原則を基としますが、 女性に対する侵害、侮辱、弱体化からの保護を 目的としたクルアーンの明文、高貴な使徒の言 葉が優先されることを強調します。社会に柔軟 性や活力が失われることのないような形で女 性を保護すると同時に、女性の成功も男性の 成功も制限されてしまうことがないよう同等に 配慮するのです。



性と接する際には特別な規則や、求められ る品性のあり方を定めました。その中には:

イスラームは、男女が二人だけで誰の目にも 触れない場所にいることを禁止しました。 イスラームが言うように迷いへの道だから です。それは、痴漢被害や強姦事件などで 満たされている今日のメディア報道で判明 していることです。

1. 目を伏せる事:



た欲望、性的被害からの保護につながる道 だからです。制限なしに何にでも視線を送る ことは、犯罪や痴漢へつながる道です。至高 なるアッラーは言いました。

「信仰者たちに言いなさい、彼らの視線を 下げ、恥部を守るようにと。それは彼らにとっ てより清廉だ。まことにアッラーは、彼らの行 うことを熟知なされるお方。」(光章30節)

3. ヒジャーブ(覆い隠すこと):

アッラーは男性にではなく、女性に 対してヒジャーブを定めました。彼 女らに美しさ、惹きつける要因とな る魅力をアッラーは授けたからです。 女性が男性に魅了される以上に、 男性は女性に魅了れます。このよ うなことから、古代の歴史から今日 に至るまで、女性が男性の欲望の ために利用されることがほとんど で、逆ではありません。これは今日、 さまざまな異なるメディアにおいて 私たちがはっきりと目にしているこ とでもあるのです。

守りつつ、より良い形で使命を果たすことが できるようにするためです。

性的魅了、刺激を減少させます。また、本能 的な欲求を満たす存在、快楽と楽しみの ための道具として女性を見るのではなく、 男性と同じく文化的、学問的な要素を備え たひとりの人間として接することを思い起こ させるものでもあります。

なぜ、イスラームはヒジャーブ(覆い隠すこと)

を定めているのか:

女性が生活、社会、学問的、実務的なさまざ

まな分野において、女性の尊厳や貞節さを

このように、ムスリムたちにとってヒジャーブ はただの服装ではありません。そうではなく、 男女間の関係を規定する人間の主からの法、 道徳の教えとしての制度です。西暦6世紀の農 場にいる人たち、あるいは21世紀ナノ科学の 実験室にいる学者、研究者でも同じことです。

イスラームのヒジャーブの批判者たちは、歴史 上最も偉大な女性の絵が(ちょうど純潔な聖母 マリアの絵がそうであるように)、ヒジャーブ姿で 描かれていて、それはムスリマ女性のヒジャー ブと酷似していることに関して知らないふりを しています。





